

令和7年度北海道釧路江南高等学校 学校関係者評価（教職員による自己評価の妥当性について）

関係者評価は「5：妥当である / 4：どちらかと言えば妥当である / 3：どちらとも言えない / 2：どちらかと言えば妥当ではない / 1：妥当ではない」の5段階評価（5点満点）

教職員による自己評価 5点満点	評価観点	自己評価の 適切さ	具体的改善策	具体的改善 策の適切さ	評価者の意見
学校経営 ・ 学校運営	教育目標 4.08	4.3	本校生の資質と進路希望及び本校に対する地域の期待を把握し、適切な教育目標を設定する。  今年度、2人担任制から担任・副担任制へ移行した。これまでの利点を維持しつつ役割分担を明確にしたことで、保護者等への対応もより迅速になり、機能性と実働性が高まった。今後は変遷の背景を各教職員が意識した上で、担任・副担任両者の一層の協力体制を継続する。	4.3	・生徒の満足度に比較し、保護者の満足度が低い点が気になる。理由はどこにあるのか。具体的改善策にある通り、地域の期待を把握し、適切な教育目標を設定する必要がある。 ・生徒や保護者へ学校の考え方が伝わっている。釧路江南高校の特色が浸透しているように思われます。担任2人制については、一定の取組成果があったものと推察されます。
	経営参画意識 ・ 組織力の向上 4.18				
	教育課程 4.13				
	自己管理 4.15				
	連携・協働 4.01				
学習指導	シラバス	4.3	授業評価アンケートの結果を全教職員が自分事としてとらえ、速やかに授業改善に取り組み。特に具体的な指摘があった教科については、短期的・長期的な到達目標を明確にするとともに、個別に授業アンケートを実施し、生徒と教科担任の間での意識の違いを適切に把握して確実な改善を図る。	4.3	・「具体的改善策」で提案されている通りの改善策とともに教科担任間ははじめ、全教職員間での情報共有や意識疎通が必要のように思われる。 ・1回で上手く取り運べる事は少なく、齟齬や考え方の乖離については、何度も面談を行い改善や向上を図って行く必要があります。アンケートを基にした、取り組みを継続願います。
	主体的な学び				
	ICTの活用				
	授業改善				
観点別評価	観点別評価を適切に行い、指導と評価の一体化を図っている				
生徒指導	生活習慣	4.0	年々、他人との適切なコミュニケーションが取れない生徒や、社会性が育っていない生徒が増えていく。HRや授業のみならず、学校生活全般において、気付いた時点で機を逃さず生徒一人一人に指導していく必要がある。また、教職員側も日頃から生徒の模範となるべく、言葉遣いや服装、挨拶などの基本的姿勢の改善を図る。	4.0	・コミュニケーション能力や社会性の欠落について、全国的に、コロナの影響が指摘されている。これをふまえた改善策、対処策が必要のように思われる。 ・コミュニケーション能力の向上を考えて頂いた指導を今後も継続願います。
	規範意識				
	安全指導				
	自己指導力				
進路指導	系統的な指導	4.0	引き続き、適切な情報提供と進路ガイダンスの実施に努める。個々の進路実現に向けた進学講習や模擬試験の積極的な活用を促し、生徒の主体的な取組を支える。また、早い段階から生徒の見聞を広め、幅広い視野を持って進路選択ができるよう各種講演等の企画の充実を図る。	4.0	・「学校運営」の項目と同じく、生徒の満足度に比較し、保護者の満足度が低い点が気になる。理由を明らかにし、改善策を検討する必要があるように思われる。 ・生徒アンケートの評価も高く、個々の意見を踏まえ、生徒に寄り添って頂いている結果と思われる。改善策にある、情報提供は極めて重要であり、継続的な取り組みをお願い致します。
	個への対応				
	保護者理解				
	講習・模試				
情報提供	進路便り等を活用して必要な情報を適切な時期に提供している				
保健指導	健康指導	4.0	スクールカウンセラーなどの協力も得て、面談及びカウンセリングが効果的に行われている。また、外部関係機関との連携が必要な場面も増えているが、積極的な活用と協力体制が図れている。  環境美化については、何よりもまず教職員側の意識を高める必要がある。各清掃分担区や管理責任箇所の日常的なチェック、清掃指導の確実な実施を徹底する。	4.0	・生徒の満足度に比較し、保護者の満足度が低い点が気になる。理由を明らかにし、改善策を検討する必要があるように思われる。 ・社会問題化している当該分野への取り組みは、カウンセラーとの連携で、過去より積極的に取り組まれてきており、今後も継続願います。
	環境美化				
	保健室運営				
	多様性の尊重				
受容的姿勢	生徒の悩みや困りごとに気づき、対応する姿勢を整えている				
特別活動	HR活動	4.3	生徒会活動については、前年度に比べ改善の様子がみられる。生徒の主体性を尊重するとともに、教員側の組織的・計画的な指導が図れるよう、引き続き業務体制の見直しを図る。  部活動については、部活動に係る方針に基づいたより健全な活動を目指し、各部での活動計画の見直しや工夫を図る。	4.3	・生徒の満足度に比較し、保護者の満足度が低い点が気になる。理由を明らかにし、改善策を検討する必要があるように思われる。
	学校行事				
	生徒会活動				
	部活動				
いじめ防止基本方針 4.33	日頃から「学校いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめ防止に関する取組を行っている。	4.3	SNS等により、見えないところで日常的に問題が生じている可能性に留意し、生徒個々へのこまめな声かけが必要である。また、発生した際の被害生徒及びその保護者等への丁寧かつ気持ちに寄り添った対応について、研修等を通して教職員の理解を深める。	4.3	・生徒の満足度に比較し、保護者の満足度が低い点が気になる。理由を明らかにし、改善策を検討する必要があるように思われる。